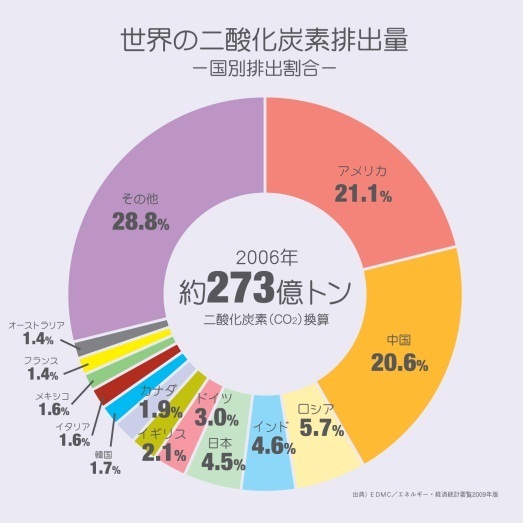
# 温暖化防止に向けて

## ●世界の取り組み

地球温暖化の原因は二酸化炭素など温室効果ガスの急増です。家庭で使っている電気やガス、マイカーで消費するガソリンなどは、私たちが便利で快適な生活をすることで大量に発生しているのです。

現在、欧州連合（EU：外交・安全保障政策の共通化と通貨統合の実現を目的とする統合体）は削減目標を40％と大幅に上げ、ドイツやイギリスなどは既に約10％～20％の削減をしています。しかし、日本の削減目標はわずか6％。しかも逆に8％増加しています。こうした温室効果ガス排出量の増大で､このままでは温暖化防止は手遅れになると国連UNEPは警告しています。

## ●私たちにできること

日本経済を支えているのは、私たち国民のひとりひとりであり、温暖化を防止するためには、私たちのライフスタイルを変革することが不可欠です。できるだけ不要なものを買わず、大事にものを使い、再利用やリサイクルを心がけることはとても重要なことです。また、節電をしたり、外出時の車利用を自転車や公共機関に切り替えたりする努力も必要です。生活の中で、できる限り資源・エネルギーの無駄遣いを排除していくことが、地球温暖化を防止する基本となるのです。

## ●家庭でできる取り組み

日本の二酸化炭素（CO2）排出量の約半分は家庭と密接に関係しています。私たちが日常生活の中で省エネ、節電、節ガスなどを行うことで**温暖化をストップ**することができます。

しかも、CO2を減らすことは、家計の節約にもなるのですから、一石二鳥といえます。

以下にあげた10の取組みのうち、できるものから始めてみましょう。

**①暖房の温度を１℃低く、冷房の温度を１℃高くする**

カーテンを利用したり、クールビズやウォームビズを取り入れたりすることで、冷暖房機に頼らないで過ごせます。冷暖房を始める時期も少し待ってみましょう。

**②シャワーを１日１分家族全員が減らす**

**身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。**

**③風呂の残り湯を洗濯に使いまわす**

**洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。**

**④ジャーの保温を止める**

**ポットやジャーの保温は利用時間が長いため、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温め直すほうが電力の消費は少なくなります。**

**⑤家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を２割減らす**

**家族が別々の部屋で過ごすと、暖房も照明も余計に消費します。**

**⑥買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ**

**トレーやラップは家に帰れば、すぐゴミになってしまいます。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。**

**⑦テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす**

**見たい番組だけを選んでみる習慣をつけましょう。**

**⑧週２日往復８kmの車の運転をやめる**

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。

**⑨１日５分のアイドリングストップを行う**

駐車や長時間停車する時は、車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。

**⑩待機電力を50％削減する**

主電源を切りましょう。長時間使わない時は、コンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い替えの際には待機電力の少ないモノを選ぶようにしましょう。

文責：高橋尚道

＜参考＞

・気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第4次評価報告書　第1作業部会（2007年2月2日発表）

・全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

・NPO ネットワーク「地球村」